



| 行事予定   |                   |
|--------|-------------------|
| 12日(月) | 赤ちゃんの話(年長) 10:30~ |
| 13日(火) | ピーカーブー ラッコクラブ     |
| 15日(木) | 集金(8月分保育料)        |
| 16日(金) | 子ども夏まつり ランチ終了     |
| 19日(月) | 】半日保育             |
| 20日(火) | 終業式・半日保育          |
| 21日(水) | 終業式・半日保育          |

| お知らせ               |       |
|--------------------|-------|
| 年長児対象の赤ちゃんの話が      |       |
| 12日(月) 10時半からホールで行 | われます。 |
| 年中・少の保護者の方で参加      |       |
| したい方はどうぞお越し下さい。    |       |
| その際は園までお知らせ下さい。    |       |
| ※参加する方は検温をしてきて下さい。 |       |

| 子ども夏まつりはこんな感じ    |          |
|------------------|----------|
| おみこし(三密を避けるため    |          |
| クラスを半分に分けて、はいきを  | 着てかざします) |
| スーパーぼーるすくい。お面    |          |
| わたあめ屋さん          |          |
| 夏まつりお楽しみパック(ランチ) |          |
| ※本物のお金を使って、買い物   |          |
| 体験食をします。         |          |
| ※浴衣・甚平可          |          |

## あるある私にも ~子育てに100%はないよね~

毎日雨マークが続き「梅ジースが飲める日」と楽しめにしていたセタ焼きも先送りになってしましました。

梅雨が災害と共にやってくる様になったのはここ何年かのことでしょうか。線状降水帯という言葉も耳慣れてしましました。明けない梅雨はない、と気を取り直して、輝く太陽を思い浮かべながら、何とか乗り切らいましょう。

今号は、先週のしつけって何だろうについて、お母様方からいただいた連絡や長の文章で私にもあるあると思ひを共有していただきたいと思います。悩み多き子育て、たくさんの失敗や後悔をしながら親も子どもと共に育つのですよね。(園長)

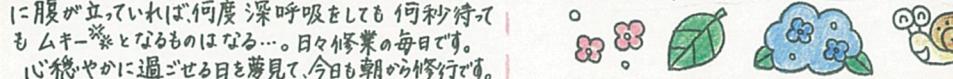
### ○日々修業の毎日

(5歳児保護者)

先週末の園だよりのしつけとは…は、親の永遠の悩みでしょね。私もたまに相談を受けることもあります。たくさん子どもがいるから子育て上手なわけではなく、毎日毎日「今日は昨日よりうまくいった」「今日は何もかもダメだった…」と一喜一憂(憂の方がかなり多めですが(苦笑))の日々です。

「待つ」ことも、「見守る」ことも「深呼吸」も言うのも、言われるもの簡単ですが、いざ実践となると、かなり高いハードルで、私にはなかなか越えられません。待たずに親の手でやってしまえば早くすむし、楽だし、汚れないし…それでも「待ったための時間」を確保して、なるべく手を出さず、声も出さず、マイクスの感情を出さず、安全確保だけをばかげ…激ムズ!!です。見守る…見てるだけじゃダメなんです。周囲の安全や周囲の人に対する迷惑をかけないように、自立できるように、それとなく誘導して…神ワザ?!見いければ何をさせても良いわけではなく、放任主義は絶一重で無責任。私の両親は放任主義のババ配分性でした。

自分が親になって、親のババ配分性の部分がようやく理解できた気がします。そして、最難関、「深呼吸」。本当に腹が立ていれば、何度も深呼吸をしても何秒待ってもムキヤシとなるものになる…。日々修業の毎日です。心穏やかに過ごせる日を夢見て、今日も朝から修行です。



### ○ハロジャマで家出

(5歳児保護者)

園だより読みました。本当に「おこる」ではなく「待つ」説得大事だと思いました!!日々、時間におわれてしまふとなかなかできず、いつもいけない、いけないと想いながらも恐い顔をしているのだろうと…。ちょうど1年前の今頃、コロナで小学校がお休みの時、仕事に行く前に息子に宿題提出日で学校に母が持参しなければならないのにやっていない事に私の怒りが頂点に達し、怒ってしまいました。少し反省しているかな…とお弁当を作りながら、ふと部屋を見渡すと梁がありません。草花を見ると1足たらず…庭を探しても見当たらず…。主人と私が車と自転車で分け合って1時間近く探しでも見つからず、近所の人人に会うたびに聞いても姿を見た人はいない…。本当に生きにこちがしなかったあの時の記憶がよみがえりました。

結局、1km先までずっとハロジャマで歩いていき、みんながハジ配分していると聞いた息子は、自分で帰ってきてくれたので大事にはなりませんでしたが、怒った事に本当に後悔した過去があります。今となっては笑い話になりますが(笑)



今年も悲恋で終った  
たなばたさま



4歳

07